



峯みねのたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

宗立専門僧堂準備号

新装刊 009号
2013年7月20日発行

〒981-1505
宮城県角田市角田字長泉寺69番地
電話 0224 (62) 1004
FAX 0224 (63) 0063
http://www1.odn.ne.jp/chosenji/

曹洞宗 長泉寺
六国峯
国際環境規格ISO-14001認証取得のお寺

「曹洞宗宗立専門僧堂」が8月26日から長泉寺にて開単

【宗立専門僧堂とは】
海外の修行僧が3カ月滞在し
禅を学ぶ、国際的な研修の場

宗立専門僧堂とは、海外の修行僧と共にグローバルな見地から禅を学び合う特別な研修であり、曹洞宗が平成19年(2007年)から毎年開催している修行道場です。曹洞宗には外国籍僧侶が約740名在籍しており、禅の教えは世界的規模で日々拡大を続けています。こうした禅の国際化に対応するため、外国人出家僧を対象に教師資格(在家者に指導できる資格)を取得させることが、この研修の主な目的とされています。

国内外各地での開単を経て
今回は私たちのお寺が会場に

本年度で第7回目となる宗立専門僧堂は、私たちのお寺・長泉寺で8月26日から開単(僧堂を開くこと)されます。年初のご挨拶でもお伝えしましたが、宗務庁から

の要請を受け、護持会役員会でご協議いただいた結果、満場一致でお引き受けすることとなりました。役員の方々を始めとする檀信徒の皆様にご協力をいただきながら準備を進めて参りましたが、いよいよ開単を1カ月後に控え、改めて身の引き締まる思いであります。

世界各地から訪れる外国人の掛搭僧(1カ所に滞在して修行する禅僧)と、その指導を務めつつ共に修行する日本人僧侶、合わせて30人ほどの方々が、11月18日までの3カ月間にわたり長泉寺で安居(托鉢等を除いて外出を禁止、坐禅修行に専念すること)を行います。本師・釈迦牟尼仏、道元禪師・瑩山禪師の一仏両祖の正しい御教えを、外国人僧侶と共に行持

するこのたびの機会が、檀信徒および有縁の皆様のご支援により無事円成できますよう、伏してお願ひ申し上げます。

【今回の重点的課題】
日本における仏教や曹洞宗の法事・信仰の姿を世界へ発信

宗立専門僧堂は第1回〜3回を海外で行い、国内では今回が4度目の開単となります。国内でこれまでに会場となった聖護寺(熊本県)と永光寺(石川県)は、いずれも檀信徒が存在しない修行専門のお寺です。つまり、今回の会場となる長泉寺は、海外から訪れた外国人僧侶が、初めて「お寺と檀信徒との関わり方」を見聞し、「日本における法事の様子や檀信徒の

宗立専門僧堂の大まかな日程

- ◆8月21日(水)
師家養成所上山(指導役の日本人僧到着)
- ◆8月25日(日)
僧堂掛搭僧上山(修行する外国人僧到着)
- ◆8月26日(月)
宗立専門僧堂開単(僧堂が開校されます)
- ◆9月19日(木)
師家養成所下山(日本人僧が一旦帰ります)
- ◆11月18日(月)
宗立専門僧堂閉単(修了証が授与されます)

これまでの宗立専門僧堂会場

- | | | |
|-----|--------------|------------|
| 第1回 | 平成19年(2007年) | 禅道尼苑(フランス) |
| 第2回 | 平成20年(2008年) | 禅道尼苑(フランス) |
| 第3回 | 平成21年(2009年) | 陽光寺(アメリカ) |
| 第4回 | 平成22年(2010年) | 聖護寺(熊本県) |
| 第5回 | 平成23年(2011年) | 永光寺(石川県) |
| 第6回 | 平成24年(2012年) | 聖護寺(熊本県) |

信仰の姿」を学ぶ場となるわけ

これは大いに意義があると同時に、非常に責任重大なことでもあります。日常的にお寺と接する機会

の多い檀信徒の皆様にとつてはわかりづらい感覚だと思いますが、たとえば「初めて日本のお葬式を

見た外国人」の気持ち想像してみてください。参列者が身に着けているものや表情、仕草、読経の

唱和の様子など、すべてが初めて見聞する光景であり「これが日本のお葬式のベシツクな形だ」と

認識し、母国に帰って伝えようと思うでしょう。

宗立専門僧堂 1日のスケジュール

4:00	振鈴(起床)
4:30	坐禅
6:10	朝課(朝の勤行)
7:00	僧堂行鉢(朝がゆ)
7:40	日天作務(清掃)
9:30	講義・作務・進退習儀
11:00	斎鐘(梵鐘を打つ)
	日中諷経(昼の勤行)
11:30	僧堂行鉢(昼食)
14:00	講義・作務・進退習儀
16:30	晩課諷経(夕の勤行)
17:00	薬石・淋汗(夕食・入浴)
19:30	坐禅
21:00	開枕(就寝)

く学べる場を提供するよう努めると共に、日本の文化についても可能な限り伝えることができるように尽力したいと考えています。檀信徒の皆様にも、今般の僧堂開單が日々の信仰について見直すよすがとしていただければ幸いです。

【今回の重点的課題②】

東日本震災後の東北の地で外国人僧侶が修行する意義も

私(成賢)は第2回目から5回連続で宗立専門僧堂に参加しておりますが、今回は堂監(副校長職)を拝命し、当寺が会場となることと併せて大いに緊張しております。しかし、今回は関東以北で初の開單となり、東日本震災後の東北で外国人僧侶が修行するという意義があります。さらに、前述の通り、檀家を有するお寺で初の開單という画期的な会場になるわけ

すから、責任と共に大きなやりがいも感じております。

角田の長泉寺は、海外からの視点で見れば、津波被災地からも福島第一原子力発電所からも、ほんのわずかな距離に位置しています。東日本震災や原発事故による被害は、国際的にも非常に大きな出来事であり、グローバルな見地から禅を学ぶ上では欠かせないテーマの一つと言えるでしょう。

本堂再建の折にも度々表明いたしましたように、私たちのお寺・長泉寺は、将来的に「修行中心のお寺」として角田の地における信仰の礎となることを願っております。その祈願を成就するためにも、今回の宗立専門僧堂開單をひとかたならぬ大事と受けとめ、檀信徒および有縁の皆様のご支援を糧に、全力を尽くして取り組んで参ります。

【皆様へのお願い①】

地域の皆様の「まごころ」で修行の日々を支えてください

掛搭僧(修行僧)となる外国人僧侶は15人前後の予定で、各人の個別指導にあたる日本人僧侶もほぼ同人数が参加するため、宗立専門僧堂の期間中は約30人の僧侶が坐禅堂で寝起きします。朝4時起床から夜9時就寝までの間、坐禅・読経・作務などに専念し、食事や

皆様のご支援をお願いします

◆「食」を支えてください
米・パン・野菜・味噌・梅干・菓子・果物などの差し入れにご協力をお願いします。私たちの修行を「食」の面で支えてください。

◆托鉢にご協力ください
宗立専門僧堂の期間中、計4回の托鉢を行います。浄財のご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。浄財は震災復興支援として、被災地に送ります。

◇布団について
先日、布団のご寄付をお願いしましたが、外国人僧侶の身長が一般的な布団のサイズと合わないため、専門業者のリースを利用することになりました。従って、布団のご寄付は辞退させていただきます。ご協力いただいた方々に、心より感謝とお詫びを申し上げます。

休憩の時間も含めてすべての修行・研鑽となる毎日です。これらは大本山で課している内容と同等の厳しい修行ですが、さらに、日本文化の講義やお寺での行住坐臥に関する進退など、国際的な研

修ならではの力キユラムも豊富に盛り込まれています。大本山の老師を始め、堂長(校長職)・監事(教務主任職)のお師家様がいらつしやいますし、個別指導にあたるのは世界各国で活躍されている語学堪能なお師家様です。これから、外国人僧侶にとつて学習体制への不安は特にないでしよう。これまでに行われた宗立専門僧堂でも、外国人僧侶の皆さんは非常に真剣な姿勢で修行に臨んでおり、感銘を受けました。しかし、

そのような彼らも不慣れた日本での長期滞在中には、気弱になる瞬間もあるかもしれません。そんな時に、檀信徒および地域の皆様からのご支援が大きな励みになるはず

です。3カ月の間には、角田や丸森で托鉢を計4回行います。また、近隣の清掃奉仕を行ったり、ミネ幼稚園の運動会に参加したり、被災地で語りべの方からお話を伺ったりする機会も予定しています。そのような折には温かく見守り、ぜひ声をかけて励ましてください。ご喜捨や差し入れなどの面でご協力をいただくと共に、どうか地域の皆様「まごころ」で修行を支えてくださいますよう、よろしくお願いたします。

宗立専門僧堂 期間中の注意事項

- ◆法事ができない時間帯があります
講義の時間など、時間帯によっては本堂での法事を営むことができなくなります。ご理解ください。
- ◆本堂・書院が使用不可になります
修行専門の場となるため、通夜・葬儀では本堂・書院をご使用いただけなくなります。

◆梵鐘を打つ時間が通常と違います
従来は午前6時・午後5時の梵鐘が、期間中は異なる時間(午前5時、11時、午後6時、9時)に鳴ります。

ご不明な点は、お寺にお問い合わせください。檀信徒および地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

この機会に、ぜひご参加ください

- ◆朝課(朝の勤行)…毎朝6時10分
- ◆羅漢拝…毎月1日・15日午前11時

どなたでも自由に参加できます。とくに羅漢拝は宗立専門僧堂の期間中限定の法要なので、この機会を逃さずに体験してみてください。

【皆様へのお願い②】

朝課(朝の勤行)や羅漢拝などに皆様方もぜひご参加ください

長泉寺では日頃から「お経を読む会(毎月1日・15日)」や「坐禅会(毎週日曜)」など、どなたでも自由に朝課(朝の勤行)や坐禅に参加できる機会を設けていますが、宗立専門僧堂の期間中は毎朝6時10分からの朝課にいつでもご参加いただけます。ご先祖様方の読込供養も行います。

また、宗立専門僧堂の期間中は毎月1日・15日の午前11時から「羅漢拝(羅漢供養)」を行います。羅漢拝とは、私たちと同じ修行僧として最高位に達した「阿羅漢」

の姿を描いた「羅漢図」に拝礼することです。羅漢図には「五百羅漢図」「十八羅漢図」などいくつかの形式があり、長泉寺では十六羅漢図(表紙の写真)が対象となります。その名の通り、釈迦牟尼仏の弟子で特に優れた16人の姿を描いた16面(八曲一双)の屏風を前にし、御名を読み上げて「あなた方と同じように修行する私たちを見守り、励ましてください」と拝礼します。この羅漢拝にも、自由にご参加いただけます。とりわけ檀信徒の皆様方には、ぜひこの機会を逃さずに一度は実践していただきたい儀礼だと思います。

このように、宗立専門僧堂の間中は、お寺の運営が通常とは異なるスケジュールで行われます。そのため本堂や書院が使用できなくなりますし、梵鐘を打つ時間も変わります。檀信徒および地域の皆様には、ご理解とご協力をいただけますよう、伏してお願ひ申し上げます。

宗立専門僧堂の様子は
次号の特集記事で
お知らせします!



長泉寺境内に新たな名所が誕生しました!!

境内整備事業の一環として、鐘楼横の参道両側に「佛足石」と「磬石」を、去る花まつりの日に安置しました。

佛足石 ぶつそくせき

佛足石とは、佛の特徴を示す三十二相の七瑞祥紋の全てを佛足紋様として刻石し、信仰の対象としたものです。

インドでは二千年前よりこの佛足石信仰が起り、この長泉寺の佛足石は、日本最古の奈良・薬師寺の佛足石(国宝)を写刻し、聖護寺(熊本県)に做って勧請したものです。

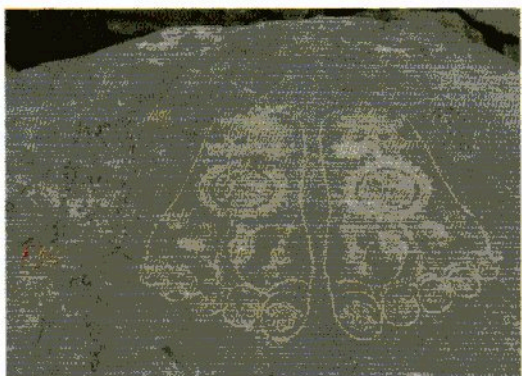
心静かに合掌し、どうか佛の慈悲を体感されてください。

磬石 けいせき

この石は、音が鳴る不思議な霊石です。

心の音色が浄土の世界に響くように願いを込めて、手前に置いてある小さな石を手に取り、磬石を軽たたいてみてください。

澄んだ音が響き、想いが御霊のもとにとどきます。



本堂に向かって左手前が磬石、右奥が佛足石です



皆様にご御礼申し上げます。

檀信徒および有縁の皆様方から、たくさんのご喜捨を賜りました。平成24年6月29日から25年6月27日までの芳名帳より、項目ごとに五十音順で掲載いたします。

供養料

赤川 良行	伊東 あい	太田 行男	小野 陽子	黒田 武夫	佐藤 ツネ	高砂旅館	目黒 章彦
吾妻 武博	伊藤 愛子	大津 まき子	小野 喜一	溪秀院	佐藤 徳男	高瀬 悦子	目黒 京子
赤根 数雄	伊藤 一男	大槻 敦子	小野 淳	小池 力行	佐藤 淑	高瀬 孝仁	目黒 サノ子
赤根 玄吾	井上 克義	大槻 孝一	小丸 淳	廣瀨 力行	佐藤 敏男	高瀬 由美子	目黒 清吉
秋山 和	井上 孝一	大槻 正明	笠岡 道子	小松 俊昭	佐藤 ともし	高瀬 英美	目黒 梯子
秋山 和	今内 義光	大槻 正明	笠岡 喜秋	小林 しづえ	佐藤 直士	高瀬 明美	目黒 清助
秋山 源之輔	巖波 敬二	大槻 正明	角張 力	後藤 美智子	佐藤 紀清	高瀬 くにえ	目黒 常昭
浅野 うめ	岩崎 敬二	大槻 正明	金上 繁	小松 良一	佐藤 はるえ	高瀬 伸一	目黒 富二
浅野 こまゆ	岩崎 敬二	大槻 正明	金子 康宏	今野 良一	佐藤 フジ子	高瀬 たきの	目黒 文男
浅野 則子	上野 則子	大槻 正明	金子 六男	今野 林一郎	佐藤 政井	高瀬 寛一	目黒 文男
阿蘇 祝子	上原 年喜	大槻 正明	川上 康一	斎 正光	佐藤 義衛	高瀬 規義	目黒 哲夫
足立 きぬえ	氏家 フク	大槻 正明	川村 富子	齋 清和	佐藤 百合子	高瀬 正彦	目黒 梯
安達 けい	潮彰	大槻 正明	菅野 幸夫	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 清
阿部 恵美子	牛澤 友志	大槻 正明	菊地 勝利	齋 正光	佐藤 義衛	高瀬 孝一	目黒 清
阿部 昭八	遠藤 昭助	大槻 正明	菊池 康平	西田 正光	佐藤 百合子	高瀬 規義	目黒 文男
阿部 善正	遠藤 昭一	大槻 正明	菊池 信一	西城 理一	佐藤 やよひ	高瀬 正彦	目黒 文男
阿部 善正	遠藤 昭一	大槻 正明	岸浪 八重子	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
荒川 喜代子	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
猪狩 正功	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
石井 芳巳	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
石川 勝俊	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
泉 和夫	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
泉 久雄	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
泉 正雄	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
板橋 好博	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
一條 憲一	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
一條 のり子	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
一條 正樹	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
一條 みつ子	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
市場 邦夫	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
市場 みつ子	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯
市場 幸男	遠藤 昭一	大槻 正明	喜松院	齋 正光	佐藤 嘉子	高瀬 光	目黒 梯

※物品等……米、野菜、果物、海産物、酒類、茶、ジュース、菓子、生花、商品券、生活用品、書籍など
※その他……お地藏さんの着物、仏具敷、清掃具、自筆本、自筆書画など手作りのもの

★★★お知らせ★★★

◆境内整備事業について

現在進めております新墓地造成の件につきましては、後日おたより等で改めてご報告いたします。

◆マナーの向上をお願いします

宗立専門僧堂の開単に向け、皆様方に一層のマナー向上をお願い申し上げます。境内にゴミや犬のふん等を放置しないでください。また、墓参の際にバケツを使用した後は、次に来られる方々のために、元の場所に戻してください。

世界各国から集まるお坊さん方に「角田・丸森の人々は素敵だ」と感じてもらえるよう、皆様方にご協力をお願いします。

訃音

前総代長・油井敬夫先生は、去る4月26日、享年98歳にてご永眠されました。

先生は、大正5年9月に生まれ、東北大学名誉教授・東北福祉大学名誉教授を務められた理学博士で、勲三等旭日中綬章を受勲されています。

昭和62年4月より長泉寺責任役員・総代長に就任され、在任中に

葬儀後から一周忌までの法事（法要）の営み方

法事のことを「追善供養」とも言います。追善とは、故人の遺した善き言葉や行いを偲び、自らもそれにならうことです。また、供養は「お供えし奉る」ことです。から、供物を供える物質的な行為だけでなく、精神的な行為も伴っていなければいけません。

故人を偲ぶことを通して、遙かな昔から続くご先祖様の命の連なりが自分にも注ぎ込まれていることに気付き、自らを省みてより良い生き方を実践していく契機にしたいものです。

一周忌までの法事は下記のように営みますが、赤字で記した箇所は特に重要ですので、正しい営み方に心がけてください。

は大書院改築落慶、藩主石川昭光公角田開邑並寺籍移転四百年記念法要、二十一世紀平和祈念大梵鐘改鑄などの大事業を円成されましたが、新本堂再建中途にて体調の理由で退任されました。

葬儀当日には、檀信徒・護持会・役員会を代表して、鈴木欽次郎氏より弔詞が奉読されました。法名は仁壽院敬天理徳禪居士です。先生の御遺徳を偲び、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

法要	忌名	亡くなった日から数えて	営み方	
初七日	初願忌	七日目	前晩または当日に、僧侶・親族・知人を招き行います。法要とは会食のみをする場ではありません。	
二七日	以芳忌	十四日目		
三七日	洒水忌	二十一日目		
四七日	阿経忌	二十八日目		
五七日	小練忌	三十五日目		
六七日	檀弘忌	四十二日目		
七七日 (忌明け)	大練忌	四十九日目		一般にはこの日が忌明けとなり、親族・知人を招いて法要を行います。葬儀から安置していた白木のお位牌を黒塗りのお位牌に変え、その際には位牌点眼が必要となります。新しく仏壇を設置された場合も同様です。跡祈念札、神棚封じもお焚上げします。詳しくはお寺へご相談ください。
百力日	卒哭忌	百日目	墓地(墓石)にお祀りしてある白木位牌をお寺へ納め、読経をいただきます。墓石に法名を刻むのも、この日を目安に行ってください。	
一周忌 (喪明け)	小祥忌	一年目		